

中高生1,400人に聞いた「“水泳”の授業に対する意識」 水泳授業の有無や好意度、スクール水着のタイプは？

～調査レポート「カンコーホームルーム」Vol.208「中高生の“水泳”の授業に対する意識」～
<https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom/vol208>

菅公学生服株式会社（本社：岡山市北区駅元町、代表取締役社長：尾崎 茂 以下：カンコー学生服）は毎月最終火曜日に結果を発信している調査レポート「カンコーホームルーム」Vol.208にて、「中高生の“水泳”の授業に対する意識」の調査データを公開しました。

夏が近くなると、プール開きをして「水泳」の授業が始まります。水泳授業は学校で「スクール水着」に着替えて行われますが、近年はLGBTQ(※)の生徒への配慮や、生徒の多様性・個性を尊重するという意識が高まり、男女の区別なく着用できるスクール水着を導入する学校もみられます。

では、中高生は水泳の授業をどのように感じているのでしょうか？今回は、全国の中学・高校生1,400人を対象に、水泳授業の有無、水泳授業の好意度、水泳授業で着用している水着のタイプについて調査しました。

※「LGBTQ」とは、レズビアン(L)、ゲイ(G)、バイセクシュアル(B)、トランスジェンダー(T)、クエスチョニング(Q)の性的少数派の中で代表的な5つの頭文字を取った総称です。

◆調査結果サマリー◆

- 水泳授業の有無は、**中学生「ある」(70.3%)、高校生「ある」(35.5%)**で、**中高一貫校で違いがある**
- 水泳授業の好意度は、**中学生は約4割、高校生は約5割が水泳授業が好き**と回答する一方で、**「とても嫌い」(全体25.5%、中学生34.2%、高校生20.4%)**という回答も
- 水泳授業で着用している水着のタイプは、**中高生約9割が「男女それぞれ別のタイプ」**で、**「男女共用のタイプ」は1割に満たない程度**

◆まとめ・見解

近年、ジェンダーレス制服を採用する学校が増えています。そのような時代を背景に、スクール水着も男女別のデザインの違いや、体のラインや肌の露出などに抵抗感を持つ生徒から不満の声があがり、男女共用で肌の露出が軽減されているデザインへの変更・変化がみられます。

今回、全国の中学・高校生1,400人を対象に、学校の体育授業での「水泳」の有無を調べたところ、**中学生「ある」(70.3%)、高校生「ある」(35.5%)**という回答結果で、中学校と高校で水泳授業の有無の違いがうかがえます。

水泳授業があると回答した中高生の水泳授業の好意度は、**中学生は約4割、高校生は約5割が水泳授業が好きと回答**しています。**一方で「とても嫌い」(全体25.5%、中学生34.2%、高校生20.4%)**という回答も一定数みられます。

水泳授業で着用しているスクール水着のタイプは、**「男女それぞれ別のタイプ」(全体91.1%、中学生92.0%、高校生90.6%)**という状況で、**「男女共用のタイプ(セパレート水着など)」(全体8.9%、中学生8.0%、高校生9.4%)の着用は1割に満たない**という結果になりました。

日本では、「水泳」の授業があるという学校が多いため、水泳授業を学校で経験する人は多いようですが、中高生で水泳授業が嫌いという声も聞かれます。中高生が水泳授業を嫌いという理由は、「泳ぐのが苦手」「着替えるのが面倒」「濡れるのが嫌」「日焼けする」という以外にも、「水着が恥ずかしい」「体を露出たくない」「体に傷があるから見られたくない」「スクール水着を着たくない」という『水着』への抵抗が影響していることも大きいようです。時代の変化とともに、色やデザインで男女を分けない、肌の露出を控えて体のラインが目立たなくするなど、スクール水着のジェンダーレス化や改良が求められているようです。

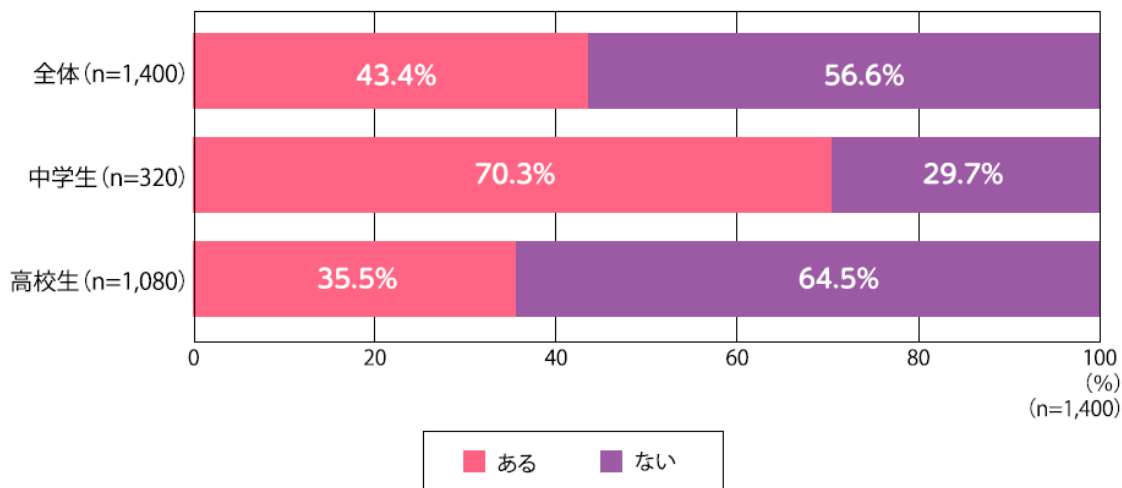
◆調査結果

1. 中高生の水泳授業の有無

●中学生の約70%、高校生の約35%で水泳授業あり

学校の体育授業で「水泳」の時間は、「ある」(全体43.4%、中学生70.3%、高校生35.5%)という状況で、**中学生の約7割が水泳授業があると回答しているのに対し、高校生はその半数**となり、中学校と高校で水泳授業の有無の違いがうかがえます。

Q.あなたの通う学校では、体育授業で「水泳」の時間はありますか。(単数回答)

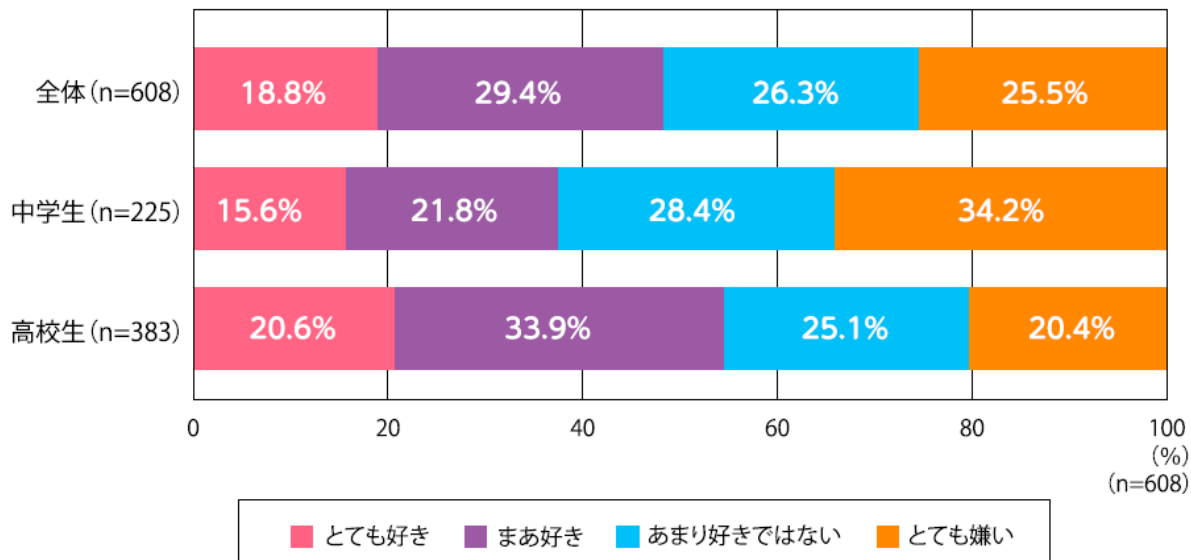


2. 水泳授業の好意度

●中学生は約4割、高校生は約5割が水泳授業が好きと回答

水泳授業があると回答した中高生の水泳授業の好意度は、「とても好き」(全体18.8%、中学生15.6%、高校生20.6%)という状況で、「まあ好き」(全体29.4%、中学生21.8%、高校生33.9%)をあわせると、**中学生は約4割、高校生は約5割が水泳授業が好きと回答しています。**一方、「とても嫌い」(全体25.5%、中学生34.2%、高校生20.4%)も一定数みられました。

Q.あなたは「水泳」の授業は好きですか。(単数回答)



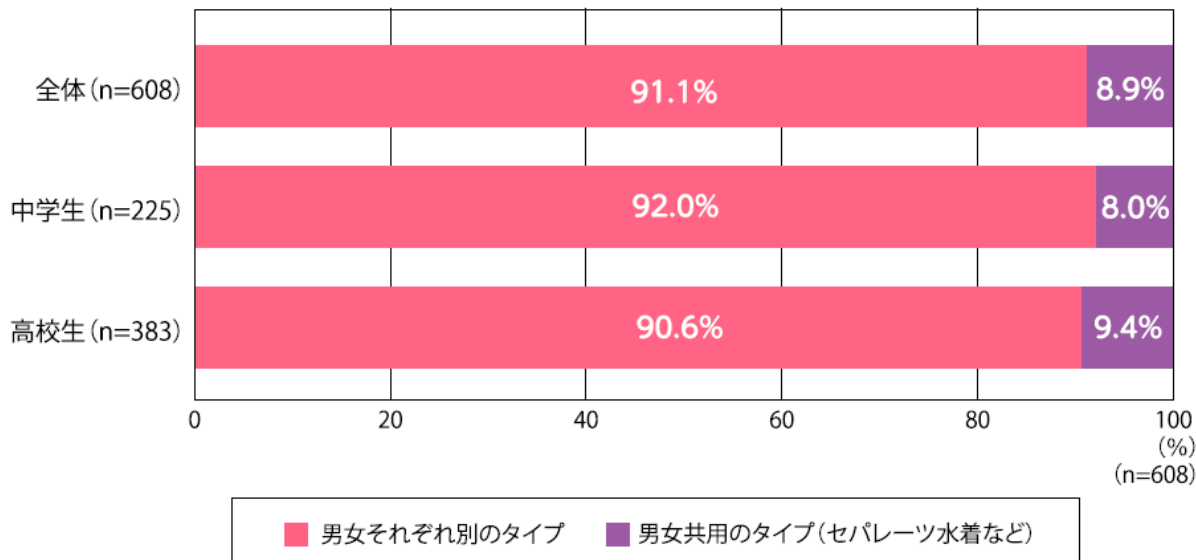
◆調査結果

3.水泳授業で着用しているスクール水着のタイプ

●男女それぞれ別のタイプが9割以上で、男女共用タイプは1割未満

現在、中高生が着用しているスクール水着のタイプは、「男女それぞれ別のタイプ」(全体91.1%、中学生92.0%、高校生90.6%)が9割を超え、「男女共用のタイプ(セパレーツ水着など)」(全体8.9%、中学生8.0%、高校生9.4%)の着用は少ないという結果になりました。

Q.「水泳」の授業の水着のタイプは、どちらのタイプですか。(単数回答)



◆調査概要

- ・調査主体: 菅公学生服株式会社
- ・調査対象: 全国の中学・高校生 1,400人
- ・サンプルサイズ:

	中学生	高校生	計
男子	112	588	700
女子	208	492	700
計	320	1,080	1,400

- ・調査方法: インターネットリサーチ
 - ・実施時期: 2023年2月
 - ・調査委託先: 株式会社ネオマーケティング
- ※結果公開URL: <https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom/vol208>

【菅公学生服株式会社】

1854年(安政元年)創業。学校制服・体操服に代表される「ものづくり」と子どもたちが未来を生きるために必要な力を育む「ひとづくり」を通じて、子どもたちと学校を取り巻くさまざまな社会課題を解決するスクールソリューションカンパニー。

【カンコーホームルーム】

菅公学生服株式会社が、生徒を取り巻く環境や生徒の意識・ライフスタイルについて多角的に調査・分析し、毎月最終火曜日に、結果を発信している調査レポート。

テーマは、「中高生が着たい制服・体操服」、「部活動で身につく力」、「学校教育とSDGs」など多岐にわたる。調査結果は、当社の事業エビデンスとしてだけでなく、広く一般に公開することで論文や教材、新聞・テレビ番組で引用転載されるなど、多方面でも活用されている。

発行日:毎月1回最終火曜日更新

公開方法:WEB <https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom>

調査テーマの募集、ご意見・ご要望受付:<https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/demand>

引用・転載のお申込み:<https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/quotation>

以上